

学術事業報告

学発番号：第13-067号

研修会 臨床化学免疫血清分野 研修会

日時： 2014年2月27日(火) 18:30～20:30

場所： 京都保健衛生専門学校 視聴覚室

主題1： 「ラテックス凝集法によるインスリン測定」

講師1： 金田 幸枝 氏（積水メディカル株式会社）

主題2： 「検査におけるGood Job、Good performanceの紹介」

講師2： 上川 大輔（京都微生物研究所）、中村美保（ファルコバイオシステムズ）

参加数： 総人数12人(正会員12人)

報告者： 後藤 直樹（京都保健衛生専門学校）

以下、講演内容など

今回の研修会では、演題1で積水メディカル株式会社の金田幸枝 氏に糖尿病の経過の概観、インスリンの基礎、測定について講演していただきました。インスリン測定意義は、糖尿病や耐糖能異常症例での原因究明、病態診断・鑑別、フォローアップ中の治療効果の判定、治療法の変更時など広く利用されている。測定時は単独で測定されることはなく、グルコースとセットで測定される。測定キットも複数の検査診断薬が販売されている。今回は積水メディカルから販売されているノルディアインスリンについて概要、原理、性能などを説明していただきました。演題2では、臨床化学研究班が経験したGood Job、Good performanceとして、臨床で役立つ事例を5つ報告しました。ヒヤリハット、インシデントなどの報告は多数されているが、前向きな報告もあるほうが良いと感じたので、来年度も実施したいと思います。

く総合研究所)、關橋進吾(京都第一赤十字病院)、白井 洋紀(京都第一赤十字病院)